



宮司プレス 九十五号

彦島八幡宮 宮司 ニューズ

発行者 彦島八幡宮

宮司 柴田 宜夫

発行 平成二十六年五月十二日

◇宮司の柴田です。 宮司に就任して丸一年を迎えた平成十八年六月に、一念発起（いちねんほつき）して毎月一回の発行を始めた「宮司プレス」、本年の九月で待望の百号を迎えますが、今月に二回発行しなければ、その夢は藻屑（もくず）と消え果ててしまいます。 というのも、周回遅れの軌道（きどう）の修正が、いまだになされていないのでありまして、今もなお、二ヶ月遅れのままなのです。 お待たせいたしました、宮司プレス第九十五号の発行であります。◇近代日本の思想（しそう）に大きな影響を及ぼされた、「善の研究」の著者（ちよしゃ）でもある哲学者の西田幾多郎（にしだ きたろう）氏は、「見えるものは見えざるもの影」とおっしゃいました。 相田みつをさんも、「花を支える枝 枝を支える幹 幹を支える根 根はみえねんだな」という詩を残していられっしやいます。 大事なものは、目に見えないのです。水道管やガス管、所謂（いわゆる）ライフラインも、地下深く埋められています。 やはり私たちは、あたり前の出来事や普段の生活にも、心から「おかげさまで」と感謝することを忘れ

てはならないと思います。 古語（こご）では、光の事を「かげ」と読ませました。 光をあてられているからこそ陰（かげ）ができるわけで、実は、私どもの何気ない日常は、みえざるもの影である、「お光様」なのではないでしょうか。 しかも、光にかかる枕詞（まくらことば）は、「たまゆらの」であります。 「たまゆら」とは、瞬（まばたき）きをするほどの、ほんの一瞬という意味です。 大自然に身をゆだね、謙虚（けんこ）につつましく生活をしていたわれわれの御先祖様は、光の速さが高速であることを察知（さつち）されていたのでしよう。 インターネットなど高度な通信手段としても、光は、欠かせないものとなっております。 命にかかる枕詞も、やはり、「たまゆらの」であります。 気が遠くなるようなわれわれが住まわされている、この地球の生い立ち、まさに悠久の時間、永く果てしなく続いていくわけです。 その時間からしたら人の一生は、まさに、ほんの一瞬、「たまゆら」です。 かげがえなのないものなのです。 人の死亡率は、百パーセント、必ず、ある地点で死にいたりします。 吉田兼好（よし

だ けんこう）は、徒然草（つれづれぐさ）に、「死を憎ばば 生（しょう）を愛すべし 存命（ぞんめい）の喜び 日々に楽しませらめや」と記（しる）しています。 今、ここに命があることに感謝をして、その感謝の心をつないでいく、これこそが、神社神道の神髓（しんずい）なのです。 「生かされて生き活きと生きていく」、これこそが、吉田兼好のいうところの「存命の喜び」ではないかと思えますし、まさに「生活」なのではないでしょうか。◇宮城谷昌光（みやぎたにまさみつ）さん著作（ちよさく）の「風は山河より」全五巻を、五年越し三回目の挑戦で、先月、ようやく読破しました。 徳川家康の祖父で名君と称えられた清康から父の広忠に仕えた家臣である菅沼新三郎の三代の物語でありました。 その新三郎は、出家して「不春院（ふしゅんいん）」と名乗りました。 なぜ、「不」という字を使ったのか、孫にあたる新三郎（菅沼の当主、後継ぎは新三郎を名乗ります）は考えます。 この「不」に一を加えると「丕（ひ）」になる、われわれ子孫に、どんな時にもしっかり根をはり一歩をふみださなければならぬ、そのことを伝えたかったのではと決意を新たにしました。 実は、「丕（ひ）」は、「大きい、盛ん、はじめ、もと」という意味があります。 「丕業（ひぎょう）」といえは、大きな事業という意味があ

るのです。四月から消費税も八パーセントになり、不安で不安定な暮らしぶり、さらに、不満も鬱積(うつせき)する昨今ではありますが、「見えざるものの影」、「お光様」と感謝して慎み深く、この「不」を「丕」にかえなければなりません。初心にかえり、一步を踏み出し、「丕業」になるよう「生活」をしていきたいものです。私も、円滑な神社の運営ができますのも、たくさんの方々の方々の真心の賜物、「お光様」と感謝の心を忘れず、襟を正しておつとめ致します。今後ともお導きください。御自愛をお祈り申し上げます。

◇四月の祭典行事報告

▼月次祭 *四月一日、十五日

※境内の桜も満開です



▼貴布禰神社(老町) 月次祭

*四月一日

※桜が満開でした

▼竹の子島金刀比羅宮例祭

*四月六日〜七日



▼荒神社例祭

*四月九日



▼舟島祭 四月十二日

*舟島神社例祭、佐々木小次郎慰霊祭



▼彦島地区戦没者慰霊祭

*四月二十日

*上の写真

▼南風泊底引網漁業協同組合網おろし

*下の写真



▼朝粥会

*四月二十一日

▼昭和祭 *四月二十九日

◇四月の宮司の行事会議等活動報告

▼八幡宮関係団体

◇維蘇志会役員会 *四月一日

◇敬神婦人会役員会 *四月二日

◇維蘇志会総会 *四月四日

▼山口県神社庁、同下関支部関係

◇山口県神社総代会研修会 *四月七日

◇支部幹事会 *四月十四日

◇支部三役会 *四月二十二日

◇下関支部聞く会 *四月二十四日

▼人権擁護委員活動

◇下関市協議会総会 *四月二十四日

▼迫町自治会、消防団

◇消防機庫点検 *四月二十日

◇役員会 *四月二十三日

◇組合長会議 *四月二十六日

▼教誨(きょうかい)活動

*美祢社会復帰促進センター

◇釈放前指導、集日教誨(男) *四月二十八日

▼講演活動

◇山口県神社総代会研修 *四月七日

▼西ロータリクラブ

◇例会 四月九日、十六日

▼その他

◇西中国信用金庫経友会総会 *四月十八日